

## 令和4年度 流山小学校 学校評価について

### 1 学校評価の実施にあたって

今年度の学校評価を実施するにあたって、昨年度に引き続き保護者、児童、および教職員に対して同じ項目で評価を行うことで、それぞれの立場から見た評価結果を比較分析できるようにしています。また、昨年度と質問項目を同じものにしており、昨年度からの経年変化を見て今後のより良い教育活動実現に向けて考察しました。

### 2 評価の方法

実施時期・・・令和4年12月1日（木）～7日（水）

実施方法・・・アンケート方式

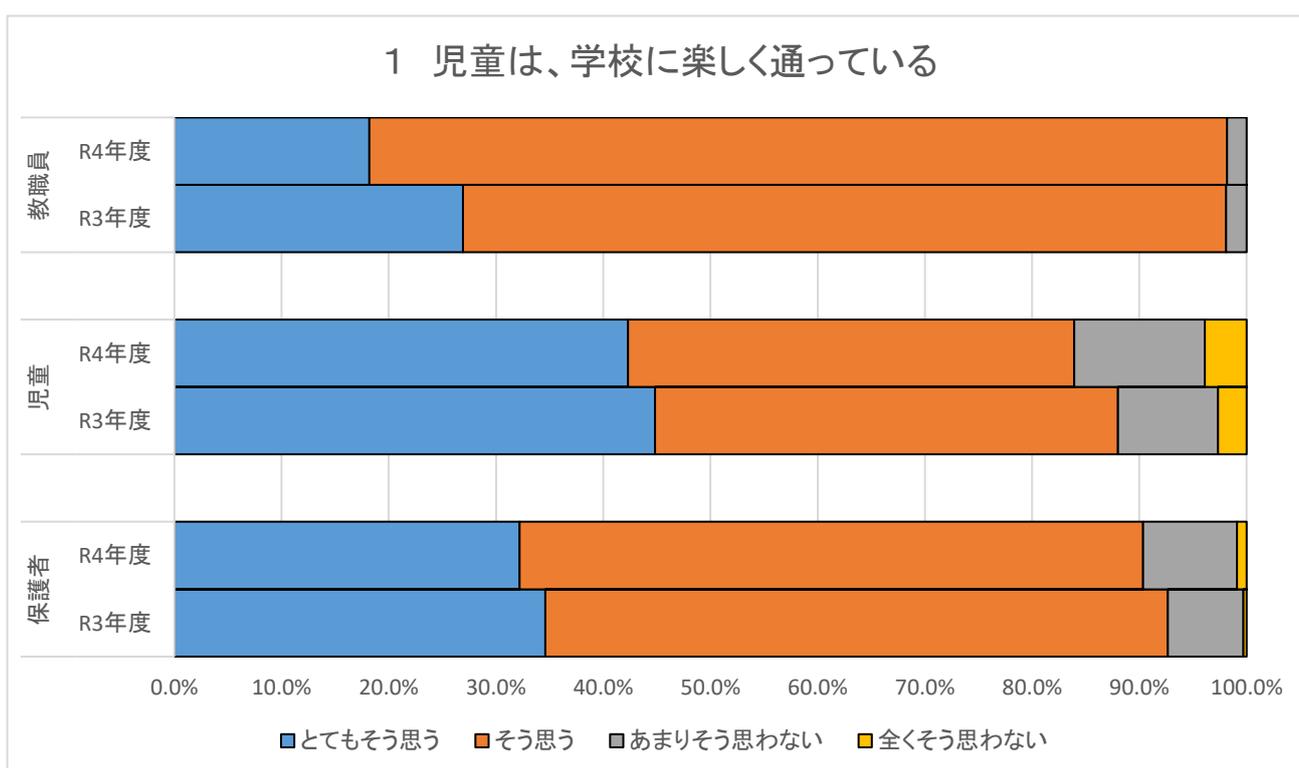
回答率・・・教職員 55/88 70.5% 児童 1000/1072 93.5%、保護者 559/831 67.3%

### 3 考察

質問項目ごとの考察は以下のとおりです。

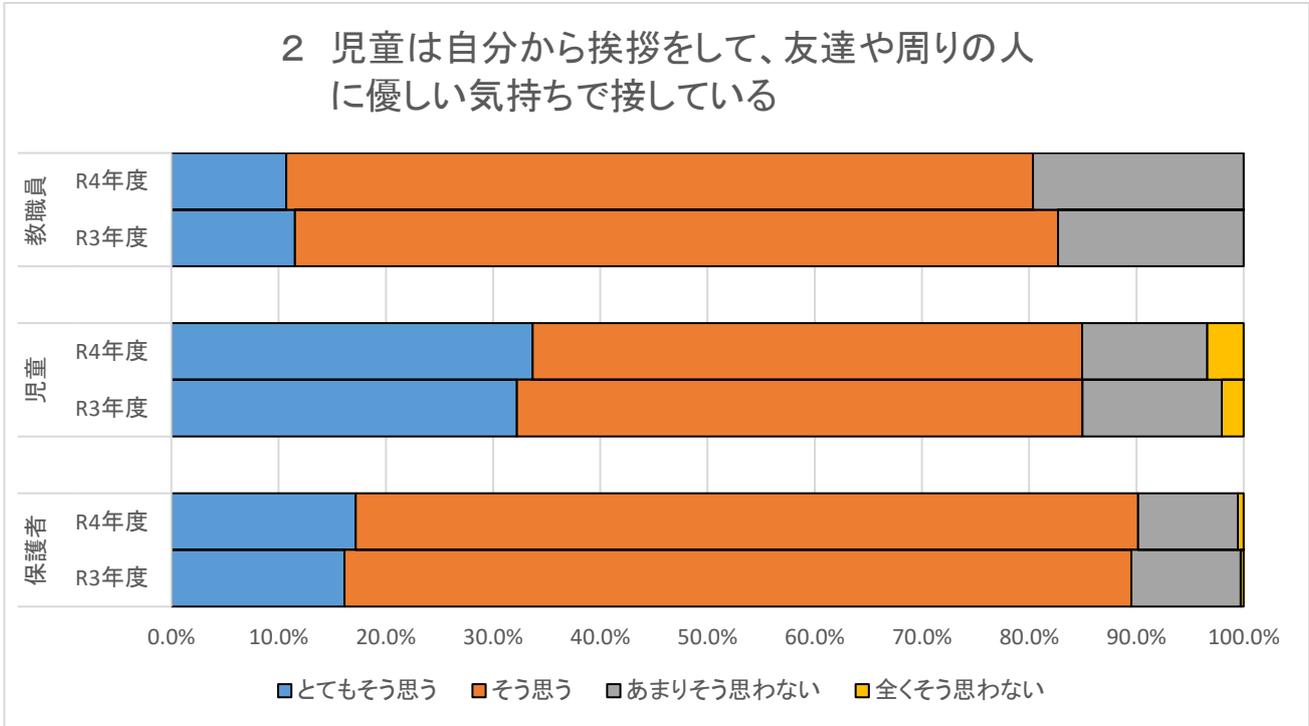
〔1〕児童は学校に楽しく通っている。

「とてもそう思う」「そう思う」と肯定的な回答をした児童が80%を超えたものの、昨年度より4.1%下がる結果となりました。日々の授業や学校行事、友達や先生、地域の方々との交流などを通して、本校の学校経営方針でもある「地域とともにつくる日本一楽しい学校」を目指し、さらなる教育活動の充実を図って参りたいと思います。学校に楽しく通っているかと聞かれて「全くそう思わない」と答えた3.9%、「あまりそう思わない」と答えた12.2%、の子どもたちの存在を心にとめて、一人一人に寄り添い、不安や悩みの把握と解消に努めていきます。



(2) 児童は、自分から挨拶をして、友達や周りの人に優しい気持ちで接している。

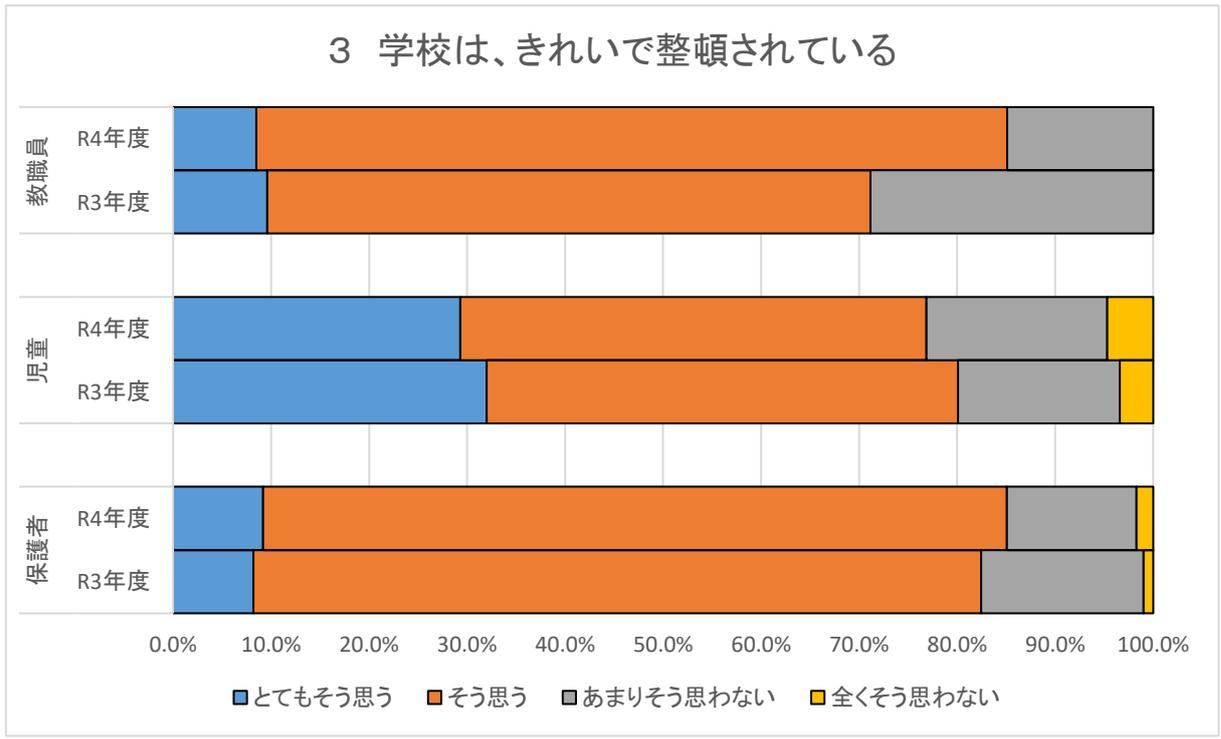
アンケート結果から、教職員や保護者が思っている以上に児童自身が「とてもそう思う」と回答しています。マスクをしているため、挨拶をしていても大人には気づいてもらえなかったということが考えられます。本校では「めえげこ（めをみて、えがおで、げんきに、こころをこめて）」を合い言葉にしているので、お互いが気持ち良くなれる挨拶ができるように引き続き指導していきたいと思います。また、地域の人と挨拶で繋がることで防犯上の観点からも抑止力になると言われています。まずは、教職員や大人が子供たちの手本となるような挨拶を心掛け、子供たちが自発的に気持ちの良い挨拶ができるように工夫して取り組んで参りたいと思います。



(3) 学校は、きれいで整頓されている。

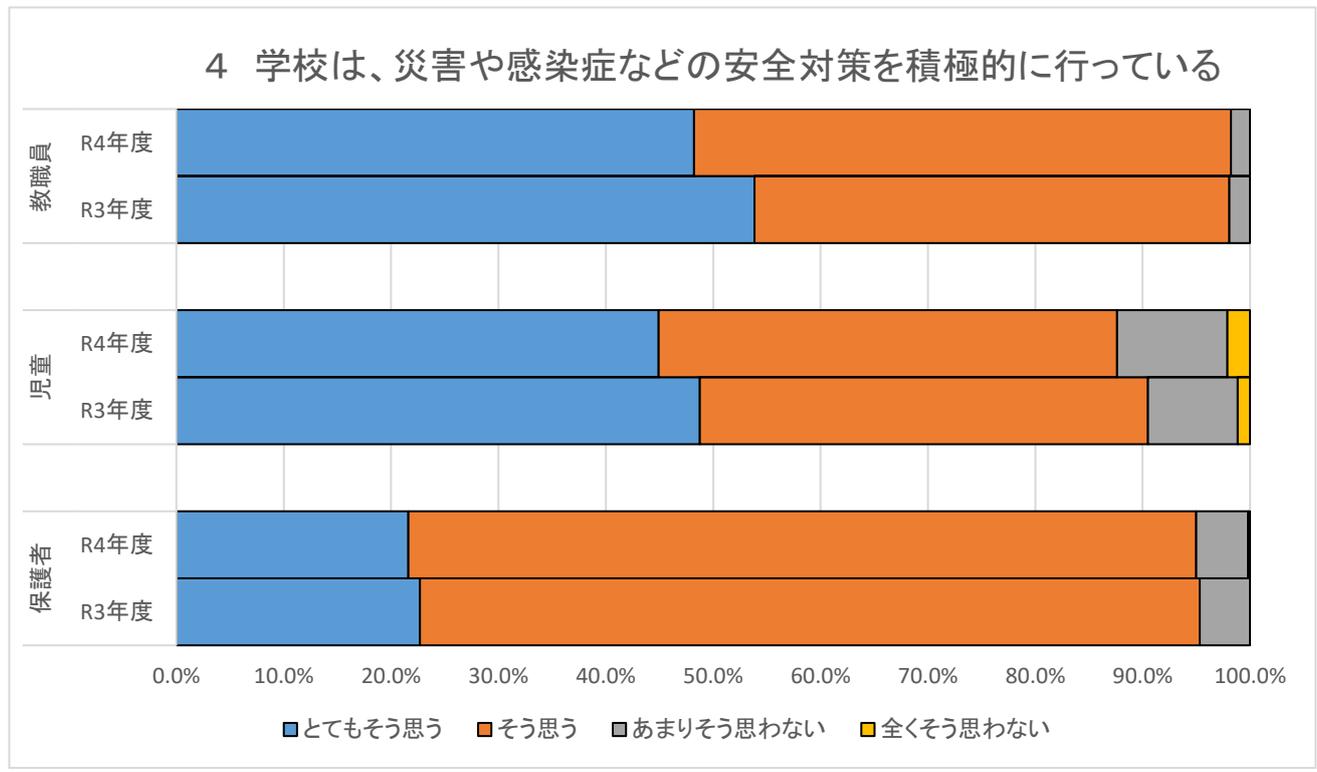
教職員の肯定的な回答が昨年度より 14%も大幅に上がりました。背景には学校経営方針の「清潔で整頓された気持ちの良い学校」を意識し組織で取り組んでいる成果の表れだと思われます。保護者アンケートでも昨年度より 2.6%上がりました。しかし、児童の評価は 3.2%下がってしまいました。今後、児童自身も肯定的に捉えられるように毎日のそうじの時間を主体的に取り組めるように指導していきます。また、今年度も清掃ボランティア活動に積極的にご参加いただいた地域や保護者の皆様方には普段の清掃では行き届かない場所などをきれいにしていただきました。ありがとうございました。

老朽化している箇所については、市とも連携を図り順次改修作業を行っています。今回のアンケートで保護者の皆様からいただきました貴重なご意見を参考にさせていただき、今後も環境整備に取り組んで参りたいと思います。



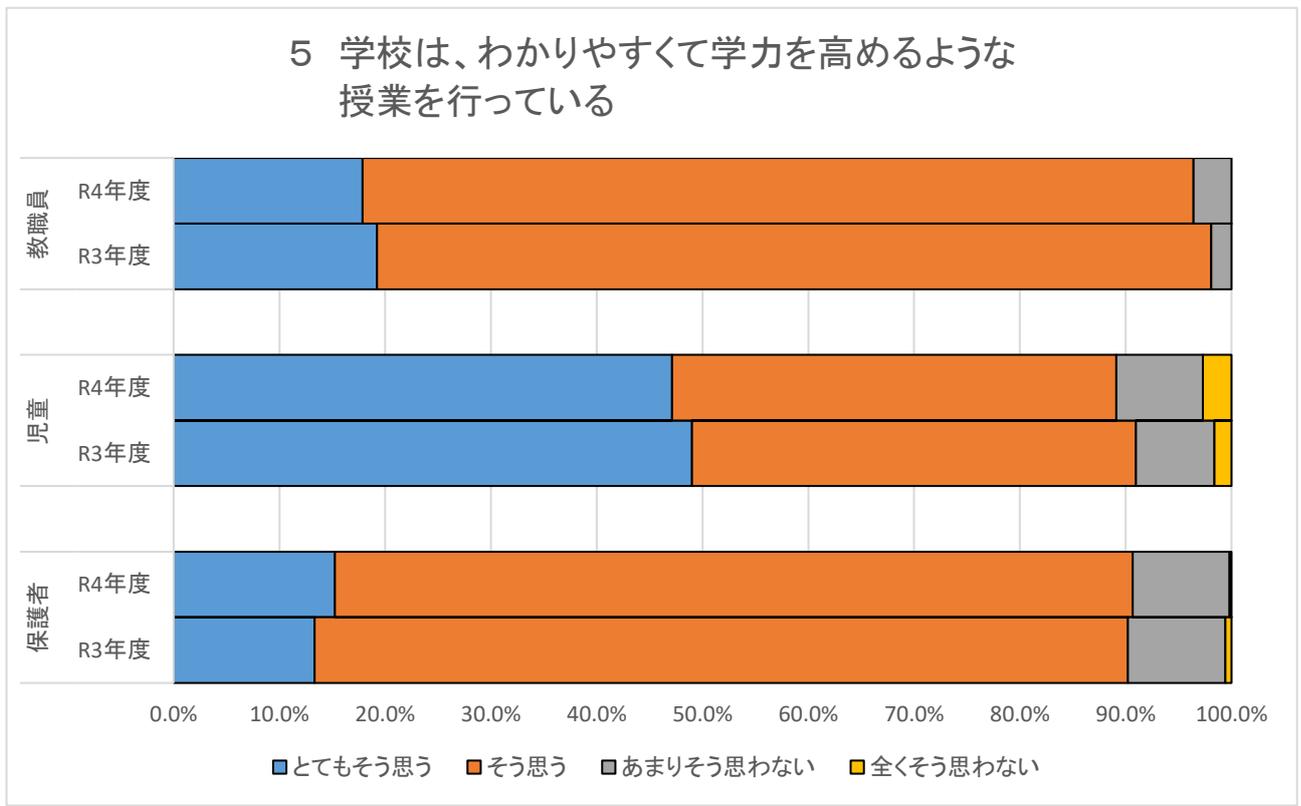
(4) 学校は、災害や感染症などの安全対策を積極的に行っている。

肯定的な回答が全体的に 90～95%と高い結果となりました。今年度は新型コロナに対する国や県、市の方針に合わせ学校行事も感染対策を講じた上で実施することができました。授業参観や運動会など地域や保護者の皆様にも学校での子供たちの様子を見ていただくことができ嬉しく思います。今後もいただいたご意見を真摯に受け止め、子供の学びを止めずに感染症対策を講じながら安心して学校生活を送れるように、また保護者の皆様が安心して学校にお子様をお預けできるように今後も取り組んで参ります。



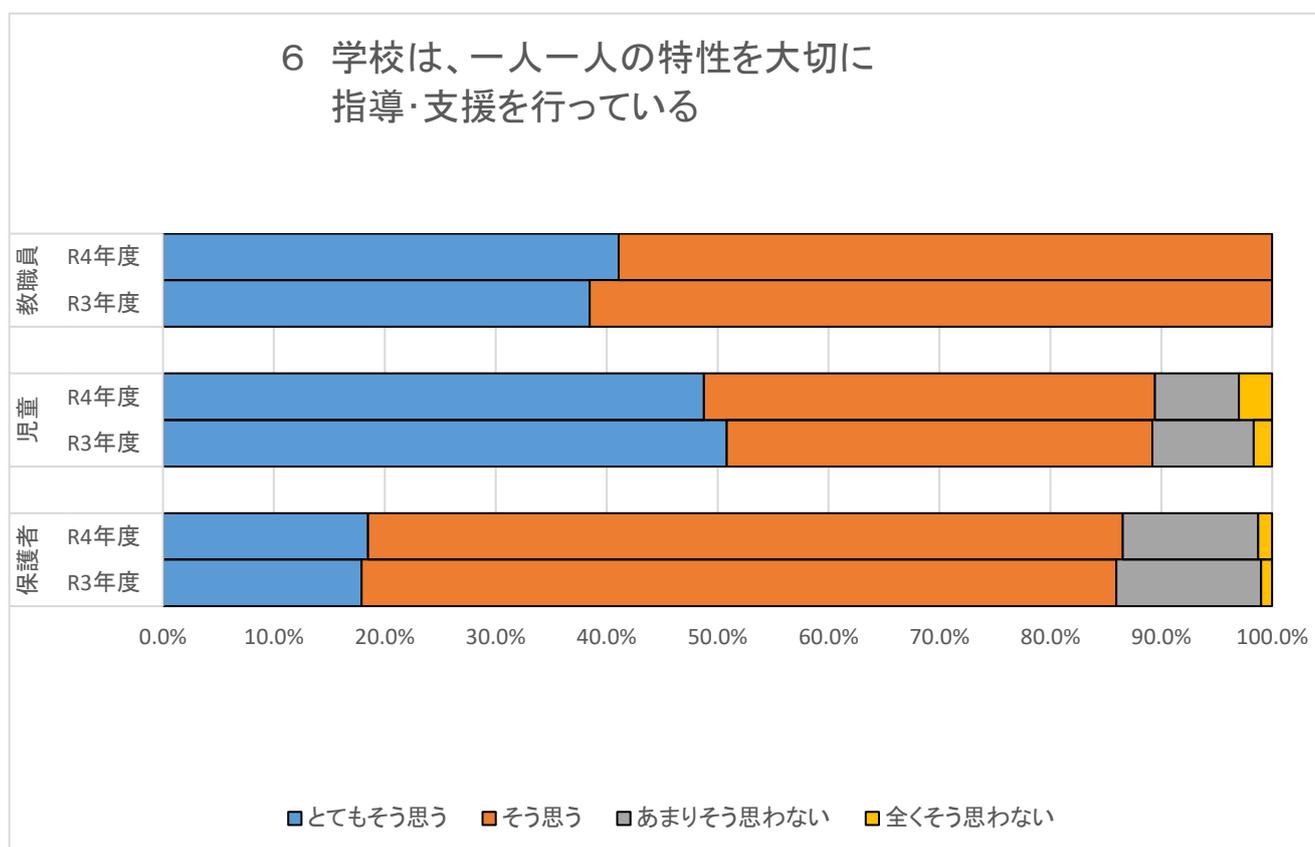
(5) 学校はわかりやすくて学力を高めるような授業を行っている。

保護者・児童の評価に比べ教職員は評価が高いのですが、自己評価に甘んじることなく、改善を要する回答をした児童や保護者の皆様のご意見にしっかりと耳を傾け、わかりやすい授業を目指して日々研修を積んで参りたいと思います。昨年度から児童一人一人がタブレットパソコンを活用した授業が始まり、我々教員も児童の理解を深めるために効果的な活用方法を取り入れていきたいと思っています。



(6) 学校は、一人一人の特性を大切に指導・支援を行っている。

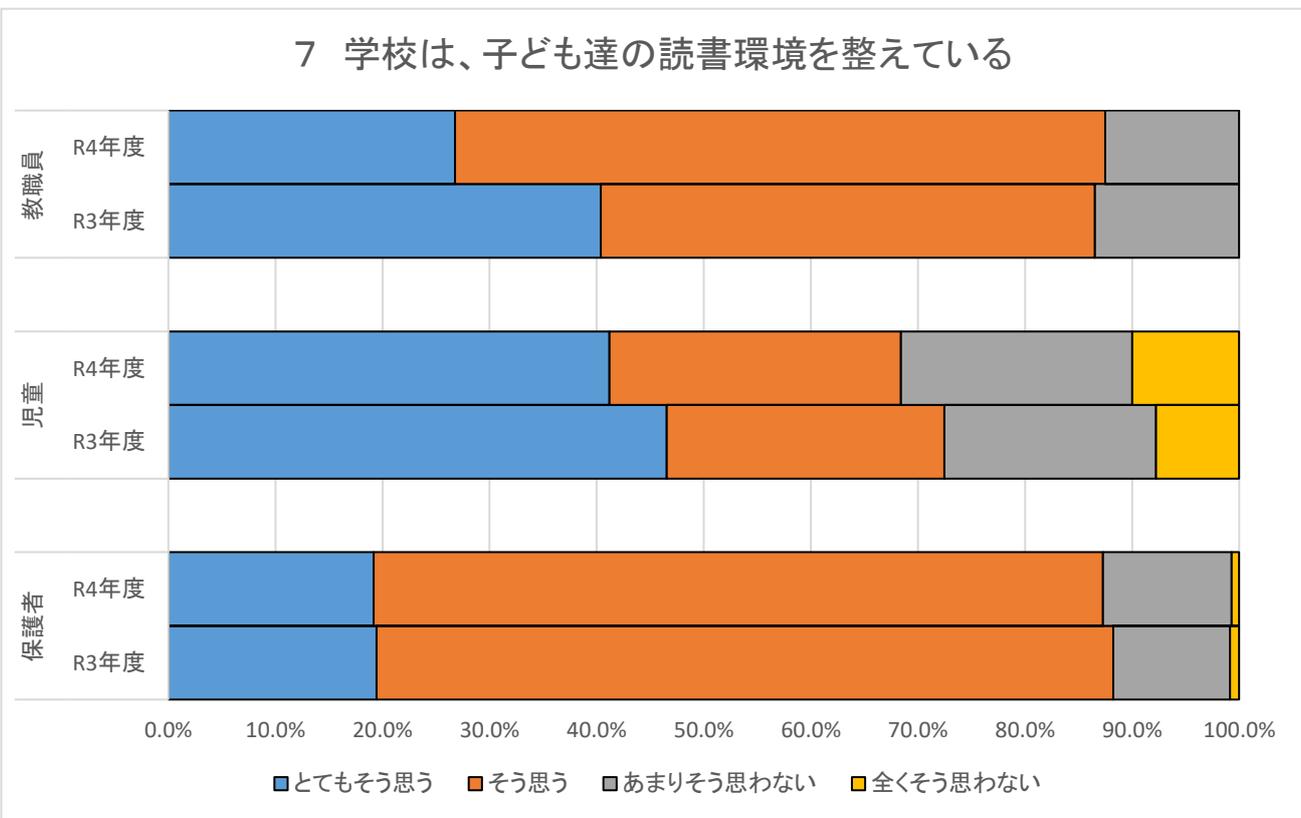
教職員のほとんどが、「とてもそう思う」「そう思う」と回答し、保護者・児童も85%以上が「とてもそう思う」「そう思う」と肯定的に捉えています。一方で、保護者13.5%、児童10.6%が、「あまりそう思わない」「全くそう思わない」ということがわかりました。教員が感じているほど、児童や保護者は、先生に自分のことをわかってもらえてないと感じていることが明らかであります。細かな児童の様子も察知できるよう、子どもと向き合える時間を確保するとともに、今年度より流山市が導入した「心の天気」は、どの子がどんな気持ちを表したか見ることができるので、保護者の皆様と連携しながら、子どもへの目配りや声掛けにいかしていきたいと考えています。



(7) 学校は、子どもたちの読書環境を整えている。

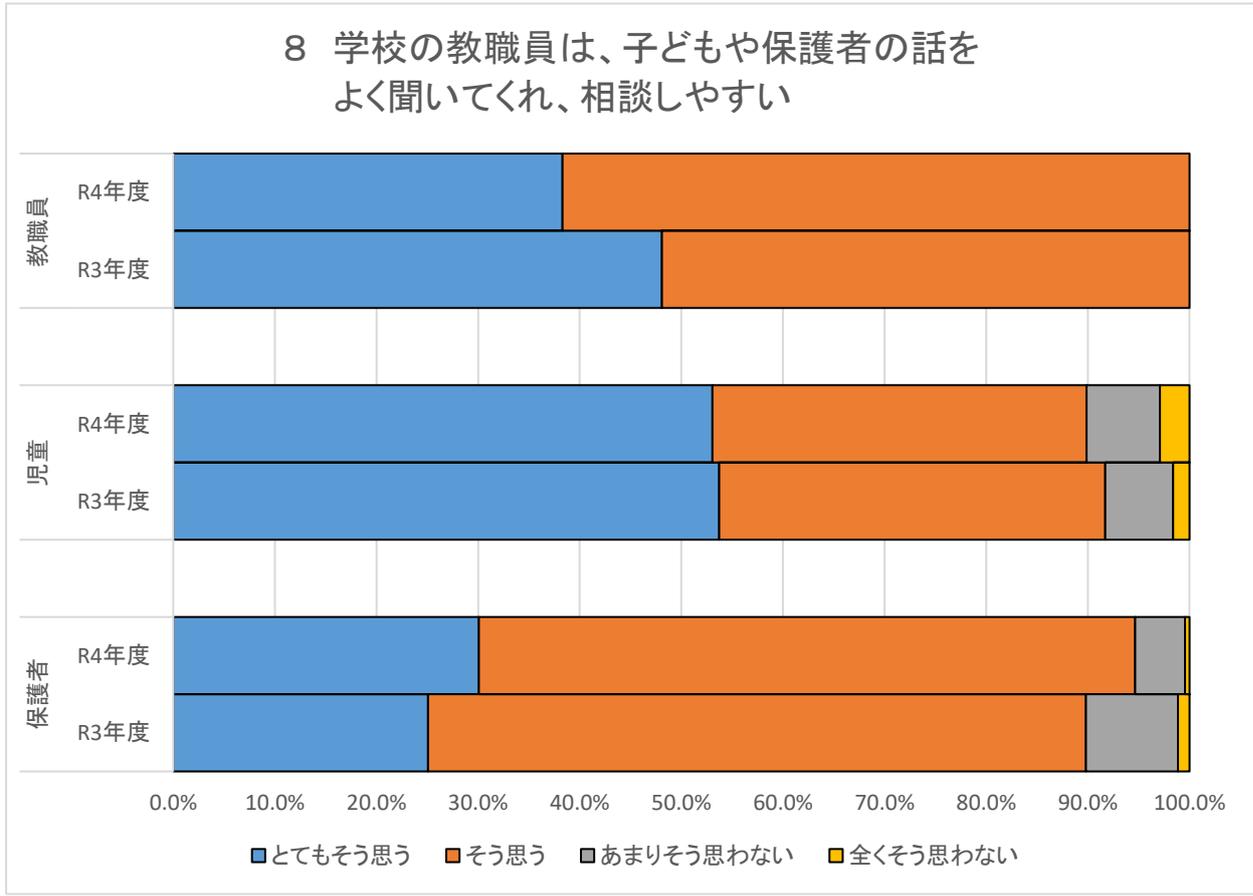
昨年度から図書室の移動等で読書環境も良くなり、図書室の貸出冊数は昨年度より増え、市の取り組みである「R1 読書グランプリ」の本を紹介するポップ部門には、多くの児童が取り組み応募したことも、図書ボランティアやおはなしの森の皆様のご協力も大きいと思われます。子どもたちの読書関係の評価は比較的高いですが、一方で「あまりそう思わない」「全くそう思わない」児童も31.6%いるので、その児童が本に興味をもってもらえるような環境づくりや取り組みをさらに考えていきたいと思ひます。

7 学校は、子ども達の読書環境を整えている



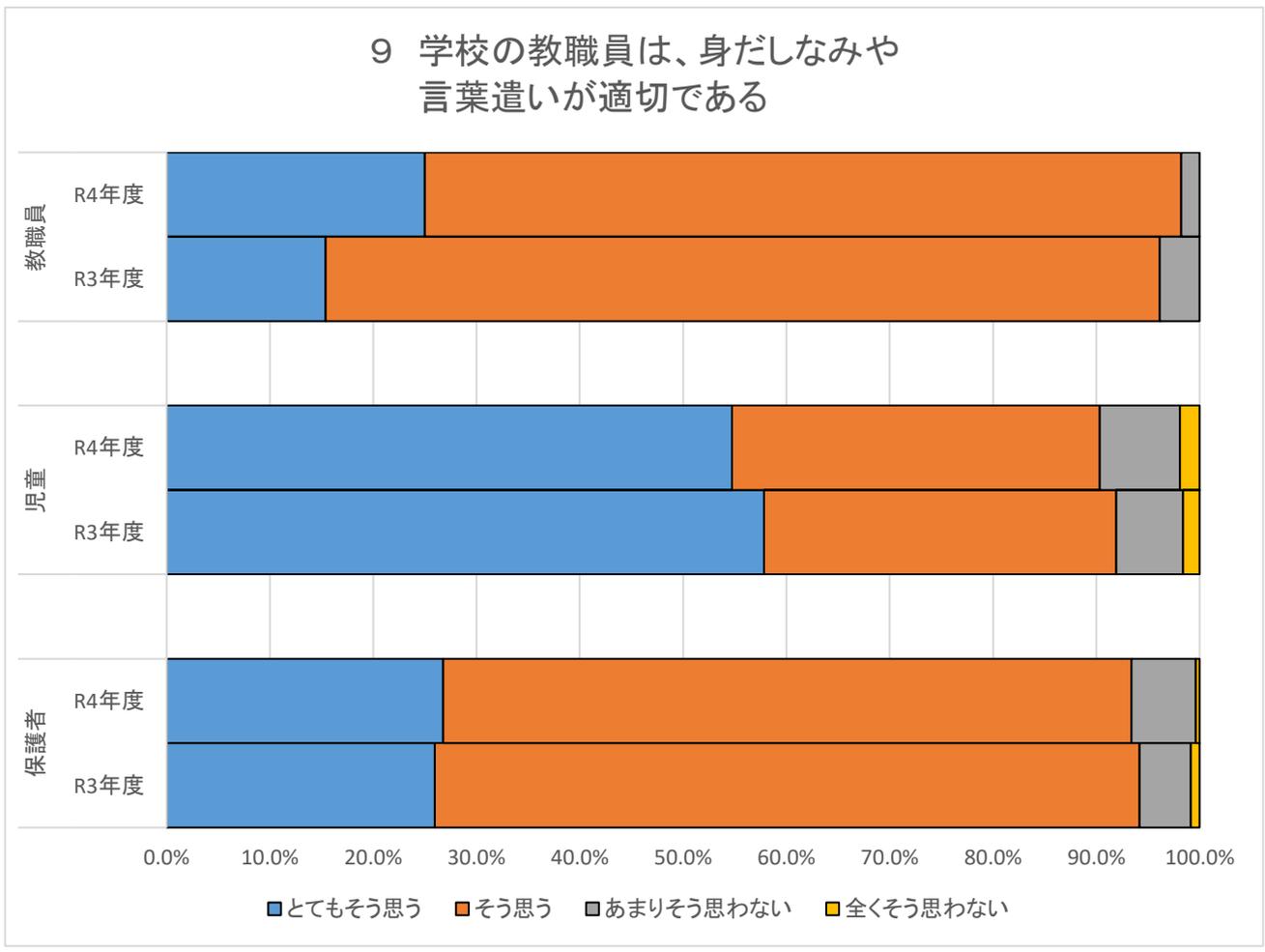
(8) 学校の教職員は、子どもや保護者の話をよく聞いてくれ、相談しやすい。

保護者の皆様からは、95%、近くの高評価をいただきました。自由意見からも、「学校で困っていることなどを相談させていただくと、細かいところまでサポートしていただけて安心して子どもを送り出す事ができています」などの肯定的な意見をいただきました。児童からは、「あまりそう思わない」「全くそう思わない」と回答した児童も10%ほどありました。子どもたちが、悩みや困りごとを相談できるよう、悩みごと相談員がいることや悩みごと相談ポストがあることを繰り返し周知し、子どもへの指導支援にあたっていきたいと思います。



(9) 学校の教職員は、見出しなみや言葉遣いが適切である。

肯定的な回答が保護者、児童、教職員共に 90%を超えているものの、児童、保護者の評価は昨年度よりも下がりました。自由意見では教職員の言葉遣いに不安を感じている保護者の方もいました。「周囲に響くほどの大声でせめたてる」「一部の先生の言葉かけや言葉遣いが子どもたちにストレスを与えている」などの声が寄せられました。学校では適切な言葉遣いで指導に当たることを全職員共通理解しておりますが、徹底されていない現状を真摯に受け止め、改善に努めて参ります。時には厳しく指導しなくてはならない場面もありますが、そこには愛情を持って子どもに心に寄り添った言葉で指導していくことを再度全職員と共通理解して参ります。



(10) 学校は、授業や行事など学校生活の中で、保護者や地域との関わりを大切にしている。

児童、教職員共に昨年度との比較で肯定的な回答の数値が上がり、児童96.4%、教職員100%の結果となりました。これは、今年度創立151年目を迎え、150周年式典で多くのお客様を迎えお祝いする中で、改めて地域の方に愛され、支えられている学校だということを感じたからだと思います。150周年記念のご寄付により新調された体育館の緞帳や暗幕、プロジェクター・スクリーンなど学校生活がより充実したものになっていることを実感しています。また、コロナの影響により様々な活動が制限されている中でも、年に3回の授業参観・懇談会、運動会、昔遊びの会等、地域の方にも参加していただき活動ができたことも大きいと思われま。引き続き、保護者と地域の方々に支えられていることを、子どもと共に感謝しながら進めてまいります。

